

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室そらまめキッズ		
○保護者評価実施期間	R6 年 11 月 20 日		～ R6 年 12 月 25 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	137	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	R6 年 11 月 20 日		～ R6 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	R6 年 12 月 1 日		～ R6 年 12 月 25 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○事業者向け自己評価表作成日	R6 年 12 月 26 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験年数が長い職員や、専門職(ST)が中心となって専門性の高い支援を行っている。	・その子やその場面に応じて臨機応変に対応できるようにしている。 ・園や学校の方針に沿ってできる工夫を提案している。	・訪問先と密に連携をとることで、その子に合った支援ができ困り感を減らしていく。
2	・市内だけでなく、市外へも訪問を行っている。	・関係機関と連携を図り、緊急性の高い事例に対しては早急に支援を行えるようにしている。	・訪問人員を増やすことで、より多くの地域に行くことができ支援を必要としている方に提供できる。
3	・通所支援と併用しているお子さんは情報共有しやすい。	・事業所と連携が図りやすく支援の方針を統一しやすい。 ・園や学校での困り感に対して事業所でも取り組んでもらいやすい。	・事業所の職員にも同行してもらい実際の生活場면을観察してもらおう。 ・担当者会議などに同席してもらおう。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・1人当たりの担当数が多い。 ・訪問支援員の不足。 ・全ての依頼を受け入れることができていない。	・利用者増加 ・訪問支援を行える人材が少ない。	・人材育成と人材の確保。 ・現在訪問支援を行っている職員と同行してもらい、経験を積むことができるように時間を確保する。
2			
3			